

様式第1号 (第4条関係)

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和6年4月16日

(あて先)

さいたま市長

所在地

団体名 Happy マルシェ運営委員会

代表者氏名 富澤 功美子

下記により、令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 843,740 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



事業計画書

団体名	Happyマルシェ運営委員会
-----	----------------

* 事業の概要			
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか？ Happy マルシェ		
事業の分野と概要	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ ☐ (四角) に ☒ (チェック) を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？ (100字程度) ☐ 保健・医療・福祉 ☐ 社会教育 ☒ まちづくり ☐ 観光 ☐ 農村漁村 ☐ 学術・文化・芸術・スポーツ ☐ 環境 ☐ 災害救援 ☐ 地域安全 ☐ 人権・平和 ☐ 国際協力 ☐ 男女共同参画 ☒ 子ども ☐ 情報化社会 ☐ 科学技術 ☐ 経済活動 ☐ 職業・雇用 ☐ 消費者保護 ☐ その他 () 南区民が交流できる場、南区民が地域で活躍できる場（出店者や運営スタッフ）としてマルシェを開催し、南区の地域コミュニティ活性化を目指します。		
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ 南区コミュニティ課		
マッチングファンドの申請回数（前回の結果）	*マッチングファンドの申請は何回目ですか。回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り（効果・成果）を記入してください。 2 回目（前回助成を受けた年度：令和5年度） 毎月第1日曜にマルシェを開催し、令和5年度は12月現在で来場者延べ3,500人、出店者延べ200店舗（各回出店者は約20組25～35人、スタッフ10名程度）の方が参加しました。来場者からは近場でこんなマルシェがあって嬉しい、出店者からは毎回出店するのが楽しみ、そして両者共に雰囲気がとても良いというお声を多くいただきました。		
対象者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ 南区民(在住・在勤・在校)とその周辺の住民		
実施期間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 6 年 5 月 ～ 令和 7 年 3 月		
総事業費	*この事業は、いくら資金が必要ですか？（そのうち助成金はいくらですか？） 1,219,240 円（助成金交付申請額 843,740 円）		
事業のテーマ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。 		

1 現状における課題と事業の目的

*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄）

住み続けたいと考える魅力的なまちづくりにおいては、ハード面（建物や環境）と共に、ソフト面（住人同士の繋がり）が必要だと考えます。区民同士の交流が活発であり、区民が主体となって地域活動に参加する環境が望ましいです。しかし近年、武蔵浦和駅前では高層マンションも多く区民の近隣との交流も希薄な現状です。また、区民がせっかく地域に役立つようなスキルをもっている、それを気軽に活用したり、発表できる機会がありません。

*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？

南区では、様々な世代の区民が交流し、区民が自分たちの活動を発表する南区ふるさとふれあいフェアを開催しています。こちらのイベントは区民同士の交流を促進させるとともに、様々な区民に地域活動への参加を促す有意義なイベントだと思います。こうした区民が主体で交流し、地域活動に参加する機会はよりたくさんあることが望ましいです。

*この事業は、何を目的に設定しましたか？

（目的：課題に対応して何をを目指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。）

マルシェに参加した区民や団体、企業等、様々な主体がお互い協力できるようなネットワークを形成する。また、区民同士の交流が活発化することで、多くの区民が地域活動に参加できるようになることを目指します。そして、今年度は区民同士だけではなく、行政と住民、地域で活動している方などを繋ぎ、この南区に愛着を持つコミュニティを広めていく活動を行います。

2 事業の具体的な内容

*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で）

※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。

事業①の事業名	Happyマルシェ
いつ（ごろ）	マルシェ年7回、派生イベント年5回
どこで	①JR武蔵浦和駅近くの高架下 サクラノード（さいたま市南区別所6-15-16） ※多くの区民が気軽にふらっと立ち寄れる場所である必要があることから、この場所を選んでおります。また、周辺道路も、マルシェを開催する場として使用することで、より多くの区民が立ち寄れるようにします。 ※年7回のマルシェのうち、2回は上記会場に加えて武蔵浦和西口広場を使用して2会場開催とし、現在あまり利用されていない駅前広場の活用を提案していきます。 ②野草散策ツアーは、まほろ公園や別所沼公園で、野菜収穫体験は見沼区の農家の畑、料理教室は南区内の公共施設を利用。
だれが（主体） だれに（対象）	（主体） 当団体 （対象） 南区民（住民、在勤、在校）とその周辺の住民
なにを	①多様な世代が集まる楽しいと思うマルシェを開催します。 区民が中心となり出店するハンドメイド販売や施術体験、飲食等のほか、幼児～小学生がリアルな社会体験ができるキッズあきんどを開催します。 ②マルシェのほか、街の野草散策ツアー、野菜収穫体験、料理教室等を開催し、学びを深めたり、参加者が様々な経験をする場を設けます。また、講師の方にも新たな機会の創出として生活を豊かにしたり、仕事の幅を広げるきっかけとしていただきます。
どうする	区民が交流する場、地域活動に参加、発表する機会を提供する。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

3 事業により期待できる成果・効果

*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？
(団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。)

初年度の成果は、区民（出店者とお客様を含む）をはじめ、行政、企業など連携協力できるネットワークを作ることができました。また、新しいコミュニティが賑わうことにより開催場所の認知度が上がり、集客が増え高架下の空間は「サクラノード」と名付けられました。事業を始めた当初の高架下は薄暗く何もなかったのですが、現在では照明や屋外テーブルの設置等がされ、ノードの意味する結び目や集合点、人と人をつなぐ場としての活用が当団体の活動を通して認められました。サクラノードの認知度が上がり、集客ができる空間として、サクラノード保有会社による空間利用のプロジェクトが進行しています。マルシェでの具体的な成果としては、販売やサービスを行うきっかけになり起業された区民、派生イベントにより現役を引退された方も子ども達や地域の方との交流を新たに作られていました。また、キッズあきんどへ参加した事をきっかけに学校や仲間との距離感が大きく変わったお子さんもみられました。期待以上の成果もあった中、次年度は更に認知度を上げ、よりお客様に楽しみにして頂けるマルシェへ成長させていきます。この形成したネットワークは、一過性の集まりでなく、同じ地域で多様な主体が支え合うことができるネットワークに発展し、今後は区民の防災や防犯の意識の向上、子育てを地域全体で行う等の意識醸成につながることも期待されます。

また、定期的にこうした地域活動に参加する機会を住民に提供することで、一過性の交流・活動への参加に留まらず、区民の地域活動に参加するモチベーションを保つことができます。こうしたモチベーションの継続は、現在参加している活動に留まらず、区民が主体的に自分たちが住むまちづくりをするといった意識醸成に発展していくことも期待されます。結果、愛着のあるまちづくりや新しいコミュニティが自然と形成されます。

事例①：キッズあきんど

学校に通えず、自宅で過ごす時間で趣味のアクセサリー作りを行っていた女兒。キッズあきんどにて得意を活かしてアクセサリー販売を行ったことがきっかけで自信がつき、居場所が生まれた。最初は全く周囲とコミュニケーションが取れなかったが、回を重ねるごとに会話が増え、笑顔があふれるようになった。学校の担任の先生や、主治医も驚き大きな変化があった。服薬治療を開始する所だったが、良い変化が生まれたことで服薬治療をせずに済み、治療方針の変更に至った。

事例②：コミュニティの創造

800戸を超える大型マンションから、マルシェ運営のコンサルタントの相談があり。自治会未加入者が多く、入居者同士の関係性も希薄で防災や防犯などの非常時の自助のために、住民や地域との交流のきっかけにマルシェを行いたいと依頼。お試しで小規模のマルシェを行い、大変好評だった。次年度は規模を拡張して実施の希望あり。

事例③：武蔵浦和の新しい駅前マンションのコミュニティチーム

建設中の駅前のマンションのコミュニティチームより、コラボレーションの依頼あり。新たな武蔵浦和のスペースとなる基盤作りを共に行っていく方向で現在打合せを進めている。次年度はこちらが動き出す予定である。

4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性

*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？

令和4年7月よりマルシェをスタートし、今までに延べ6,000人以上の方に会場いただき、延べ400店舗の方に店を出店いただきました。普段は利用されていない空間を使用し、多くの賑わいを創出し、来場者、出店者、地域とのネットワークづくりを行ってきました。出店者のマンネリが課題でしたが、認知度の向上で新たな出店者からの希望が大変多くなり、来場者にとっても新鮮で興味を引く内容を実現することができました。キッズあきんどでも、新たに店に出店に挑戦する子どもや継続して出店をして、毎回様々な策を講じて商いを学んでいる子どもが増加しました。派生イベントは参加者が前年の1.5倍になり、これにより参加者同士の交流が盛んとなりました。また、地元で開催されるハロウィンパレードや西南さくら祭りにも積極的に参加し、街の活性化や課題について取組んで参りました。Happyマルシェの活動に共感された方が毎月のサポート役に出てくださいる様にもなりました。

*この課題に関連して、団体がもつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？

約2年間、マルシェを定期開催してきた経験から年代問わず楽しんで頂ける、多くの区民が集まるイベントを開催するアイディアを持っています。例えば、多様な世代交流を促すためマルシェでは、子供達が運営する子供達のための商店ブースの『キッズあきんど』を設けています。これは、子供達が自由に考え創造したものを段ボールや破材などを利用して運営することで、普段学校では学べない社会体験を経験でき大変好評です。また、参加した子ども達の成長にも貢献しています。更に、今年度は地域の方やイベント運営者と積極的に交流をしてきたことで、協力し合える関係性となり活発な情報交換を行い、多くの区民が参加したくなるようなイベントを開催することができます。丁寧な情報交換でニーズをとらえ、入念な段取りをすることで新たな機会の創出をしてコミュニティを形成していけることが強みです。

*この課題に取り組む団体の思い（熱意・姿勢）はどんなことがありますか？

私達の目指すマルシェは、心と身体とお腹が満たされるコミュニティです。

お腹は採れたてのお野菜や美味しいもの、身体は毎回様々なケアを提案する各出店者より、心が満たされるのは様々な要素があるかと思いますが、いちばんは笑顔でのコミュニケーションだと感じます。運営メンバーを始め、各出店者、ボランティアの方々まで笑顔でコミュニケーション出来る環境や、ご来場頂いた方に沢山の笑顔とコミュニケーションが生まれる機会を作っていき、居心地良く愛されるコミュニティとして育てていきたいと思ひます。

新しいコミュニティは子育てにも反映されると考えます。将来が不透明な今の時代に、大人になって本当に役立つものは何かを実体験し、その経験が少しでも子ども達の自信や盾になり、生き抜く力を学ぶ場となることを願っています。実際、この2年間の当団体の活動に関わった子ども達はコミュニケーション能力が伸び、世代を問わず交流できます。そんな子ども達から大人が刺激を受けるケースも多くありました。

令和5年度はまず認知度の向上と、実績を残す事を目標として毎月イベントを怒涛のように開催して参りました。運営、ボランティアスタッフ含めて全力疾走を続けた1年でした。令和5年度でマルシェ運営のノウハウのベース部分を習得できたので、次年度は持続可能と熟考をテーマとして、1つずつのイベントをより豊かにしていく目的で開催ペースを半分程度に落とすことを考えております。多くの方が無理なく市民活動を長く続けていく事と、来場者の方がより満足していただけるマルシェに成長させたいと考えております。次年度は、区民と地域、そしてイベント同士をつないで行き、街全体の活性化につながるよう取組んで参りたいと思ひます。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

5 市との協働に期待すること

*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）

南区コミュニティ課

*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？

令和4年度、団体の自主事業として運営を開始しましたが、認知度も低く、地域活動をしたい方へのアプローチも難しく、特に行政の使用許可などは信用度も低いいため苦労の多い状況でした。令和5年度、市と協働していただいた事で団体だけでは成しえなかった繋がり、信頼度を獲得できました。地域活動をしたいと考える区民との繋がり、またそうした人に出店・活動発表の場があるよといったアプローチも可能となりました。ご来場される方の安心感もあったかと思われます。まだまだ認知度は低いですが1年での手応えは十分あった為、昨年と同じく南区コミュニティ課さんと協働事業として開催することで、広報の強化、地域活動をしたい人への的確なアプローチが可能になると考え、引き続きマッチングファンド事業として申請しました。市に対し協働して頂きたいことは、前年に引き続き市報や区役所内外での告知の協力です。ポスターやチラシの配置、SNSでの告知をお願いできれば、Happyマルシェが信頼性のあるイベントだと更に市民が認識し、安心してマルシェやイベントへ参加することで来場者数が増加すると期待しています。

*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。

■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援

「 官公庁や関連団体とのコネクション

■市が持つ施設などの資源による協力・支援

「 公共施設などの優先予約

■市が持つ発信力・情報（提供）の資源による協力・支援

「 市報・Web・Xを通してマルシェの告知

「 区役所内、各公民館や図書館などへのチラシ配布

■その他

6 助成終了後の事業展開

*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？

※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。

今年度も引き続き協働事業として実施することでマルシェの認知度を上げ、更に安定した来場者や協賛を増やします。次年度以降は、来場者の増加とともに、出店ブースの出店料を値上げ又はSNSでの広告費として徴収する等、当団体が助成金なしでも運営できる体制を構築していきます。

また、派生するイベントとして、野菜の収穫体験や自然ガイドの野草ツアー等を実施しています。これらの参加費をもとに今後資金調達を行えるようイベントの回数や内容を増加させていきます。

次年度、マンションのコミュニティ創りのノウハウをルーチン化し、イベントをスマートに実施して、コンサルタント費を管理組合等に予算組してもらえよう結果を残す活動をして、今後につなげて行きたいと考えております。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	Happyマルシェ運営委員会
-----	----------------

7 事業の詳細な計画

事業①	Happyマルシェ
-----	-----------

* 事業の計画はどのように考えていますか？

準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うが記入してください。

※目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。

実施時期	実施内容
マルシェ開催60日前	○マルシェ運営に関する全体打ち合わせ ・各出店者との打ち合わせ・チラシ作成等 ・前回開催分の反省会 ・前回開催分の関係機関（JR、区役所）への報告
マルシェ開催30日前	○広報活動 ・マルシェチラシ周知に係るポスティング作業 ・関係機関へのチラシ配布 ・SNSでの宣伝
マルシェ開催15日前	○マルシェ会場設営に関する打ち合わせ ・JRとの会場確認 ・設営準備 ・出店者との最終打合せ
マルシェ実施日	○イベント開催
マルシェ翌日	○会場の掃除作業、片付け
令和6年6/2,7/7,10/6, 10/26,12/1, 令和7年 3/2,3/22	上記を1サイクルとして左記日程で開催
令和6年4月	○イベント開催（街の野草散策ツアー体験）
令和6年5月,11月	○イベント開催（野菜収穫体験）
令和6年8月	○イベント開催（料理教室）
令和7年1月	○イベント開催（親子体験講座）

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名 Happyマルシェ運営委員会

8 事業の実施体制

* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。

※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。

氏 名	団体における役職等	この事業における役割
富澤 功美子	代表	代表
		事務局

9 他団体との連携状況

* この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？

※企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。

- ・JR東日本都市開発（支援、開催場所提供）
- ・IBUCA（協働）
- ・クロスフィット浦和（協働）
- ・タニタ楽器（協働）
- ・BeACTO武蔵浦和（協働）
- ・社会福祉法人 豊元会 しびらき（協働）
- ・明治安田生命（協働）
- ・さいたま市緑地協会（開催場所提供、派生イベント一部共催）

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠		金 額
収入合計（A）		(a) + (b)		1,219,240
自己資金額（a）		①～⑥の合計（d）と同額		375,500
団体の自己資金	①			
	②			
	③			
費用の徴収	④	参加費	マルシェ以外のイベント参加費 ¥500×100人(4回合計)	50,000
	⑤	出店料金	一般 ¥2,500×13店×7回＝ ¥227,500 キッチンカー ¥4,500×2台×7回＝ ¥63,000 キッズ ¥1,000×5店×7回＝ ¥35,000	325,500
⑥				
助成金交付申請額（b）（助成金収入・100万円以内）		(c) と同額		843,740

<支出>

区分		算出根拠	金 額
支出合計（総事業費）（B）		(c) + (d)	1,219,240
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 賃借料	・テーブル、いすセットリース(5セット)費 ¥48,000×7回分＝¥336,000 ・照明2基、テント3基リース費、スピーカー2基 ¥28,600×7回＝ ¥200,200 ・タイニースタンドリース費4台 ¥57,200×2回	650,600
	② 保険料	イベント保険年間費(参加者5,500人)	49,500
	③ 使用料	・場所代使用料 ¥3,300×7回分＝¥23,100 ・道路使用許可（印紙代） ¥2,500×9回(内2回は2会場＝¥22,500 ・駐車料金マルシェ当日（マルシェ搬入担当者が搬入物を運ぶのに車が必要であるため） ¥700×4名×7回＝¥19,600	65,200
	④ 印刷製本費	・チラシ印刷費A4サイズ7回分 ¥3,000×7回分＝ ¥21,000 ・スタンプラリー台紙(100枚)印刷費 ¥920×7回分＝ ¥6,440	27,440
	⑤ 役務費（通信運搬費等）	・SNS宣伝費 ¥6,000×7回＝ ¥42,000 ・ハロウィン協賛金 ¥9,000	51,000
助成金充当経費計（c）		①～⑤の合計（b）と同額	843,740

助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費		⑪ 謝金・報酬	・チラシ作成費 ¥3,000×7回= ¥21,000 ・SNS宣伝作業費 ¥3,000×3人×7回= ¥63,000 ・マルシェ当日運営補助 ¥2,000×6人×7回= ¥84,000 ・イベント講師謝礼 ¥10,000×4回= ¥40,000 ・文房具（養生テープ、ビニール紐等） ¥100×2、ダスター ¥100×2、ゴミ袋 ¥100= ¥500 ・キッズあきんど用エプロン ¥2,500×6= 15,000 ・出店者用エプロン ¥2,800×30= ¥84,000 ・オリジナルTシャツ ¥2,500×10= ¥25,000 ・ハロウィン用配布用景品 ¥50×200= ¥10,000	208,000
		⑫ 消耗品費		134,500
		⑬ 印刷製本費	広告用スタンドPOP POPA Lサイズ ¥16,500×2個= ¥33,000	33,000
		⑭		
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 〔(c)の10%以内〕	⑮		
		⑯		
		⑰		
	事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑱		
		⑲		
		⑳		
自己資金充当経費計 (d)			⑪～㉔の合計 (a)と同額	375,500

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e) $= (a) \times 3$	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]
1,126,500	375,500 × 3 倍

労力換算額 (無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額) (f) $= 1 \sim 10$ の計			
金額	算出根拠		
797,000	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠[人数×時間×500円]	金額
	1	マルシェ開催打合せ ・ マルシェ運営に関する全体打ち合わせ (30時間×7回) 2 人 × 210 時間 × 500 円	210,000
	2	マルシェ開催打合せ ・ マルシェ出店者との打ち合わせ (20時間×7回) 2 人 × 140 時間 × 500 円	140,000
	3	マルシェ開催準備 ・ ポスター掲示・チラシポスティング (2時間×7回) 4 人 × 14 時間 × 500 円	28,000
	4	マルシェ前日準備 ・ イベント前日の会場設営・準備 (2時間×7回) 4 人 × 14 時間 × 500 円	28,000
	5	マルシェ実施日 ・ イベント当日の会場設営、運営 (9時間×7回) 10 人 × 63 時間 × 500 円	315,000
	6	マルシェ翌日 ・ 会場の片付け・清掃・反省会 (4時間×7回) 2 人 × 28 時間 × 500 円	28,000
	7	派生イベント月 ・ 派生イベントに関する事前打ち合わせ (6時間×4回(野炊研修・料理教室等)) 2 人 × 24 時間 × 500 円	24,000
	8	派生イベント月 ・ 派生イベントに関する当日運営 (6時間×4回(野炊研修・料理教室等)) 2 人 × 24 時間 × 500 円	24,000
	9	・ 人 × 時間 × 500 円	自動計算
	10	・ 人 × 時間 × 500 円	自動計算

助成金限度額(Z) $= (e) + (f)$	
金額(合計)	算出根拠[自己資金を3倍にした金額+労力換算額]
1,923,500	1,126,500 + 797,000
助成金交付申請額(b) ≤ (Z) 助成金限度額	
843,740 円	≤ 1,000,000 円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏 名 注 署名によらない場合は押印してください	住 所
1.2.3.4.5. 6.7.8		
1.2.3.4.5. 6.7.8		
5		
3.5		
5		
3		
5		
5		
4.5		
4.5		
5		

- * 助成金限度額計算書（別紙2の2）で記入した「事業の実施時期・内容」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。
- * 応募申請書および交付申請書に添付する際は、押印の必要はありません。事業終了後、実績報告書に添付する際には、氏名欄に自署または記名押印をしたものの写しを提出してください。
- * 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加して御記入ください。

□この誓約シートは写しであり、原本と相違ありません。

令和 年 月 日 代表者署名または記名押印 _____

※実績報告書に添付する際はチェックを入れてください。応募申請書および交付申請書に添付する際は不要です。

団体概要

(ふりがな)		はっぴーまるしえ うんえいいんかい																																																			
団体名		Happyマルシェ運営委員会																																																			
(ふりがな)		とみさわ くみこ																																																			
代表者		富澤 功美子																																																			
連絡責任者	(ふりがな)																																																				
	氏名																																																				
	住所																																																				
	電話/FAX																																																				
	E-mail																																																				
設立年月日		令和3 年 4 月 7 日																																																			
団体の目的		毎月1回マルシェの開催、子どもの社会経験の場の創出、地域住民を対象とした生涯学習を通じた地域活性化とコミュニティ作り																																																			
会員数		個人会員 2 名 団体会員 団体																																																			
さいたま市内における 主な活動内容		Happyマルシェ開催																																																			
団体の財政規模		本年度予算 (令和 5 年 4 月 ~ 令和 6 年 3 月) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><収入の部></th> <th colspan="2"><支出の部></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会費収入</td> <td>千円</td> <td>事業費</td> <td>1,103 千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>千円</td> <td>管理運営費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>471 千円</td> <td>その他支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>642 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,113 千円</td> <td>計</td> <td>1,103 千円</td> </tr> </tbody> </table> 前年度決算 (令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><収入の部></th> <th colspan="2"><支出の部></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会費収入</td> <td>千円</td> <td>事業費</td> <td>192 千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>千円</td> <td>管理運営費</td> <td>10 千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>157 千円</td> <td>その他支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>7 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>164 千円</td> <td>計</td> <td>202 千円</td> </tr> </tbody> </table>				<収入の部>		<支出の部>		会費収入	千円	事業費	1,103 千円	寄附収入	千円	管理運営費	千円	事業収入	471 千円	その他支出	千円	その他収入	642 千円			計	1,113 千円	計	1,103 千円	<収入の部>		<支出の部>		会費収入	千円	事業費	192 千円	寄附収入	千円	管理運営費	10 千円	事業収入	157 千円	その他支出	千円	その他収入	7 千円			計	164 千円	計	202 千円
<収入の部>		<支出の部>																																																			
会費収入	千円	事業費	1,103 千円																																																		
寄附収入	千円	管理運営費	千円																																																		
事業収入	471 千円	その他支出	千円																																																		
その他収入	642 千円																																																				
計	1,113 千円	計	1,103 千円																																																		
<収入の部>		<支出の部>																																																			
会費収入	千円	事業費	192 千円																																																		
寄附収入	千円	管理運営費	10 千円																																																		
事業収入	157 千円	その他支出	千円																																																		
その他収入	7 千円																																																				
計	164 千円	計	202 千円																																																		
添付書類		* □ (四角) に☑ (チェック) を入れてください。 ☒ 定款又は会則等 ☒ 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 ☒ 令和5年度の団体の活動予算書 ☒ 直近1事業年度分の活動計算書(収支計算書) ☒ 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面(任意団体のみ) ☒ 団体目的等についての確認書(任意団体のみ) ☐ その他 ()																																																			